

使徒信条

わたしは、天地の造り主、全能の父なる神を信じます。

わたしは、そのひとり子、わたしたちの主、イエス・キリストを信じます。主は聖霊によってやどり、処女マリアから生まれ、ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、陰府にくだり、三日目に死者のうちから復活し、天に昇って、全能の父なる神の右に座しておられます。そこから来て、生きている者と死んでいる者とを審かれます。

わたしは、聖霊を信じます。聖なる公同教会、聖徒の交わり、罪の赦し、からだの復活、永遠のいのちを信じます。アーメン

主の祈り

天にまします我らの父よ、

願わくは御名をあがめさせたまえ。

御国をきたらせたまえ。

御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧をきょうも与えたまえ。

我らに罪を犯す者を、我らが赦すごとく、

我らの罪をも赦したまえ。

我らを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。

国とちからと栄とは、

限りなく汝のものなればなり。アーメン

初めて礼拝に参加なさる方への御案内

- ・教会の礼拝は、信者だけのものではありません。どなたでも、いつでも参加できます。
- ・礼拝は、「見えない神と対面するとき」です。砕かれた自分を携えて礼拝に臨みましょう。
- ・礼拝では、イエス・キリストを証言する聖書を読み、その聖書を説き明かす説教が行なわれます。イエス・キリストの御言葉と生きる姿を通して、私たち自身の生きる道を尋ねましょう。
- ・礼拝では、讃美歌を歌い、祈ります。これらは神への信頼を表し、また神の恵みに応えて感謝を捧げるものです。
- ・礼拝では、自分自身をささげて神に従う献身のしるしとして、献金を捧げます。今は、献身のしるしとして捧げる事は難しいと感じる方が、神への感謝のしるしとして捧げることもまた礼拝に相応しいことです。人の目や金額の大小を思わず、心のままにお捧げ下さることは、神と人へと仕えて生きる新しい歩みの第一歩となるはずです。



←礼拝ライブはフェイスブックから
週報はホームページにも掲載→



礼拝 毎日曜午前10:10より
日曜学校 毎日曜午前9:30より
祈り会 毎水曜午前10:30より
午後6:30より

*牧師との面談を希望される方はご連絡下さい。



週報

2021. 9. 5.

わたしは、自分のしていることが分かりません。自分が望むことは実行せず、かえって憎んでいることをするからです。
(ローマ7:15)

日本キリスト教会

札幌豊平教会

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条3丁目5-15

電話 (011) 811-6838

送金には、郵便局から振替口座をご利用ください。
振替: 02790-7-9082
口座名義: 日本キリスト教会札幌豊平教会

メール toyohirachurch@jcom.home.ne.jp
HP <https://www.ccjtoyohira.com/>
北海道中会ホームページ <http://nikki-hokkaido.net/>

2021年9月5日 No.36
聖霊降臨日第16主日

招きの言葉：ヨハネ8：31

イエスは言われた。「わたしの言葉にとどまるならば、あなたたちは本当にわたしの弟子である。」

讚美歌 21-28

聖書 II コリント3：1-6 (新p327)

祈り

説教 「キリストの手紙 ーいのちのバトンー」
神学生関口直文

讚美歌 21-457

聖餐

讚美歌 21-78

献金

主の祈り

頌栄 21-27

祝祷

アーメン三唱

後奏 (聴いた御言葉と派遣されて行く者としての理想を覚えて、各自黙祷を)

きょうの聖書

- わたしたちは、またもや自分を推薦し始めているのでしょうか。それとも、ある人々のように、あなたがたへの推薦状、あるいはあなたがたからの推薦状が、わたしたちに必要なのでしょうか。
- わたしたちの推薦状は、あなたがた自身です。それは、わたしたちの心に書かれており、すべての人々から知られ、読まれています。
- あなたがたは、キリストがわたしたちを用いて、

お書きになった手紙として公にされています。墨ではなく、生ける神の霊によって、石の板ではなく人の心の板に、書きつけられた手紙です。

- わたしたちは、キリストによってこのような確信を神の前に抱いています。
- もちろん、独りで何かできるなどと思う資格が、自分にあるということではありません。わたしたちの資格は神から与えられたものです。
- 神はわたしたちに、新しい契約に仕える資格を与えてくださいました。文字は殺しますが、霊は生かします。

《2021度主題》

『他者と共に、他者のために～食でつながる心と命～』
聖書 創世記1：28

神は彼らを祝福して言われた。

「産めよ、増えよ、地に満ちよ。地を従わせよ。海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物を全て支配せよ」

今週の集会

- 6日(月) 関口神学生、東京へ出発
- 7日(火) 14:00 キリスト教会の歴史 (オンライン併用)
- 8日(水) 10:30 祈り会 (オンライン併用) / 18:30 祈り会
- 9日(木) 9:30～/11:00～ガンバルーン体操教室
10:00～弁当調理
- 10日(金) 9:00 弁当作り (教会前では12:30 手渡し)

今週の牧師の予定 (上記以外)

- 6日(月) 9:00 来客 10:00～「歴史と向き合う移民社会・東アジアの和解と平和」ZOOM講座
- 7日(火) 10:30 札幌ファミリーホーム協議会
- 9日(木) 10:30 札幌児相・里親会事務局会議

次主日の予告 (2021年9月12日) 聖餐執行

礼拝 聖霊降臨日第17主日 (ライブ配信)

聖書 使徒言行録11：27-30 (新p236)

説教 「迫害と大飢饉と」 牧師稲生義裕

讚美歌 讚美歌21-26, 463, 29

報告

- 29日(日)の礼拝出席25、子ども0、献金13,768円、高校生以上の集い：休会
- 朝ごはん30日(月)朝ごはん：44食 (教会前25、大通19、ボラ5名(0食))
- 31日(火)夕張フィールドワーク：4名
- 1日(水)祈り会I：7 (対面・リモート併用) II：4名
- 3日(金)とよひら食堂：185食 (教会前58、札パブ45、留学生会館0、聖公会60、大通19、ボラ10名(3食))

お知らせ

*8月22日、平和主日の礼拝後、2021 平和集会をもった。タイトルは「歴史を生き、歴史をつくる教会となるために」ー札幌豊平教会の戦争責任告白から25年ー。講師；渡辺輝夫夕張伝道所牧師

《報告つづき》同牧師が豊平教会を辞して、季節労働者への転身を図って歩んだ25年間を、聖書を語る者(説教者)としての在り方を問い続ける歩みとして語って下さった。

同牧師の問いは、説教者として語る言葉に自分自身がなく、他者の言葉を援用して構成されたもの(借りもの)に過ぎないとの思いに始まる。「言葉と存在の背離」である。

では、語る言葉が自分の言葉であるための「当事者性の獲得」はどのようにして可能とされるのか。人への共感力(共苦力)と、自分では直接体験できていないことを体験している他者への想像力を養いつつ、ただ飯を喰らうために必要に迫られる労働に従事する日々を重ねていく。その歩みの内から、言葉がただ頭から発せられた言葉ではない「からだ性を回復した言葉」が生み出されるものと考え、そのよう歩んでこられた、とお話を伺った。なお、近年の豊平教会の「宣教の言葉としてのとよひら食堂」の営みについて、この度は触れて頂く時間がなかった。(文責：稲生義裕)